

I 実践

1 あいさつ運動の実施

本校では、朝のあいさつ運動を生徒会活動として取り組んでいる。登校時のあいさつを進んで行うことで、人と人との心通い合うよりよい人間関係を築き上げようという運動である。

この活動には、生活委員会や学級役員、さらには部活動を単位とした部員の積極的なボランティアも運動に参加し、一年を通して継続して行ってきた。



(1) あいさつ運動の成果

日々の実践を継続することで、あいさつをすることが習慣づけられてきている。朝からあいさつの輪が広がっていることを感じる。校内を歩くと多くの生徒が進んであいさつをするようになってきた。しかし、まだ声が小さい生徒や、教師側から声をかけても返事やあいさつができない生徒も散見される。また、生徒同士のあいさつも希薄な様子も見受けられる。あいさつは心を伝える第一歩であることの大切さを継続指導しながら進めていく。

2 地域への積極的な関わりをもつ実践

(1) 街の清掃

① 取り組み

定期的に、学級ごとに多賀駅前よかっぺ通りの清掃を行っている。この活動を通して、学級内のグループで役割分担をし、協力して清掃作業をすることで、互いに協力することの大切さを実感するで、奉仕活動の大切さを味わい、ボランティア精神を養うことを目的としている。いつも自分たちがお世話になっている地域への感謝の気持ちをもって活動に当たれるように事前指導も行っている。また、生徒と教師が協働することで、一体感や達成感を共有し、学級のまとまりや絆づくりにつながることも期待している。



② 成果

本年度は全学級が学区清掃へ参加することができた。強制ではないが、多くの生徒が自主的に参加し、ボランティア活動をすることで、共に働く喜びを感じたり、達成感を感じたりすることで、地域のためになることを実践できた。

(2) 地域行事へのボランティア参加

① 取り組み

大久保中学区では、本市の大きなお祭りの一つとして長年続く地域行事の「よかっぺ祭り」や「ひたち国際大道芸」が行われている。ボランティア委員会が中心となり、各種行事へのボランティア参加を呼びかけ、毎年多くの生徒が自主的に参加している。また、今年は「ごじゃっぺ市」にもボランティアとして参加した生徒がおり、ボランティア活動に対する意識が年々高まって来ている。

② 成果

どちらのお祭りでも祭りの運営補助や会場清掃に多くの生徒が参加した。活動中の子供達にはいきいきとした表情が見られ、奉仕活動を通して充実感が得られた様子だった。「よかっぺ祭り」では、吹奏楽部もボランティアで参加して演奏を行い多くの来場者に感動を与えることができた。



Ⅱ 今後の課題

それぞれの活動を通して、いきいきと輝く生徒の姿をたくさん見る事ができた。また、一人ではなく複数の仲間と共に働くことで効果が大きくなったり、自分が励まされたりすることを実感できたようである。それぞれの活動の中で、普段学校ではなかなか見せない生徒の表情も見ることができ、新たな発見にもつながった。街の清掃や祭りのボランティア、演奏の時に地域の方からかけていただく「ありがとう」や「ご苦労さま」の言葉は、生徒一人一人の意欲や人権意識を高めることにつながっていることが分かった。

近年、地域の関わりや人と人のつきあいが希薄になっていることが言われてきている。今日の社会の中で、ボランティアが持つ効果はとても大きいと感じる。今年は、いずれかの活動に対して、大多数の生徒がボランティア活動に参加することができた。本来ボランティアは強制するものではないが、活動を通して得られる充実感や達成感、成就感などを味わう機会を与えることも必要であると考えます。今後も、活動参加への呼びかけをさらに強化しながら、できるだけ多くの生徒が参加する機会を増やしていくことが課題である。